

学習支援等の受入について

今 井 宏

自然の博物館では、自然への関心と理解を深めるため、体験学習を中心とした数多くの教育普及活動を実施しています。なかでも、児童・生徒・学生等への学習支援、指導者を対象とした講座の開催、教員・研究団体等の研修会、博物館学芸員実習・職場体験等を積極的に受入れています。

本編では、自然担当が11月末までに実施した活動の概要を、紹介します。

I 出前授業等の受入

当館の学芸部門は、企画広報・自然（動物・植物・地質分野）・環境（環境分野）担当で構成しています。企画広報担当が要請の受入・調整を行い、内容によって自然・環境担当が専門性を活かし、学校へ伺っての出前授業、当館の展示や資料等を活かした授業、岩畳・虎岩や要請を受けた学校周辺での野外授業等、既に22校支援しました。

支援の内容は、小学校理科の「土地のつくりと変化」を中心に、「総合的な学習の時間」、高校・大学の現地実習等です。また、学校内の植物の同定にも対応しました。

II 指導者対象講座の開催

当館の利用促進と教員や自然系学習施設職員の授業力向上を図ることを目的に「授業に役立つ自然史体験講座」を開催しました。岩畳・虎



岩畳での動物観察「授業に役立つ自然史体験講座」

岩を会場に地質や岩石、昆虫を中心とした自然観察の技法を紹介しました。熱中症が心配される猛暑日の開催でしたが、参加した小中高校の先生方には、大変好評でした。

III 研修の受入

県立総合教育センター主催の下記の研修、



岩畳での地質観察「中学校初任者研修教科別研修（理科）」

- ①中学校初任者研修（みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修）
- ②中学校初任者研修教科別研修（理科）
- ③中学校5年経験者研修（理科）
- ④高校5年経験者研修
- ⑤20年経験者社会体験・ボランティア研修を受入れました。初任者研修は、新規採用教員全員を対象としたもので、理科が専門でない教員も普段経験することがない体験研修に新鮮みを感じたようで、積極的に取り組む姿が見られました。

IV 博物館学芸員実習

今年は、3名の実習生を受け入れ、博物館が実際に行っている資料の収集・整理・保管、展示・公開、教育普及活動等の主な業務の一端を体験してもらいました。

以上のように、当館では体験学習をメインにした学習支援や研修を積極的に受入れ、自然への理解を深める活動を積極的に行っています。

（いまい ひろし・専門員兼学芸員）